



政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないように

福島原発 汚染水

漁民との約束反故 計画ありきの放出強行

汚染水放出半世紀続く

政府は福島第一原発冷却汚染水を8月24日から放出する事を決め、東電は放出を始めた。岸田首相は放出決定前福島原発を訪れ状況把握を行った後、漁民代表とも会わず帰京し、翌日漁民代表を東京に呼び寄せ会談をする。間髪を入れず翌日には閣議決定をし放出を決めた。今まで関係者の理解が得られなければ放出しないという約束を反故にし、期限ありきの問答無用と強行した。政府は「汚染水ではない。汚染水をアルプスで処理した処理水」だと強弁し「処理水」を強調している。しかし、アルプスで処理したとしてもアルプスの性能検査はIAEAも東電も政府も行っていない。メーカーのうたう性能をそのまま鵜呑みをしている。現在汚染水は約130万トンタンクに貯めているがアルプスの性能で示された数値はおろか約7割は放射性基準値に合致していない。海洋放出するには再度アルプスで処理する必要がある。政府は世界中の原発でも今回の放出計画よ

り多くのトリチウムを含んだ排水を放出していると逆宣伝している。しかしこの排水はタービンを廻した後の蒸気を冷やして水に戻す冷却水（日本では海水を利用）のことであり、むしろ原子炉内の核燃料に直接触れた水ではない。しかし今回の処理水と言われている排水はメルトダウンした原子炉内の放射性物質に直接触れた汚染水であり両者は明らかに別物である。アルプスで処理しても放射性物質は除去しきれない。そしてその総量はどのくらいになるのか情報は全く公表されていない。きちんと情報を出し、納得する資料を示さない限り不信感拭えないのではないか。トリチウムを含んだ処理水を海洋放出するのは費用が一番安いからでその選択をしているが、専門家は他の方法も提案している。その検証もきちんとすべきではないか。中国などは日本からの水産物の輸入を禁止した。中国との貿易額は約25%にもなり第二位の米国は約15%。その様な国に対して事前に理解を求める外交

努力はしたのか。形だけの報告でIAEAを盾に説明しただけで済ませているのではないか。岸田政権は結論ありきの方法では常であるが、この問題でもその方法が露呈し、解決が難しく成っている。今かでも他の処理方法を真剣に考えるべきでしょう。

自然災害の備えを！

9月1日は関東大震災から100年。東京、神奈川を中心に10万人以上の死者行方不明者。家屋倒壊、焼失、液化化、津波、山津波等様々な被害が発生した。多くは焼死者が占めていたという。相川地域でも多くの家屋が倒壊し、31名の犠牲者が出た。厚木町で28名。厚木市は震度6〜7。死者総数は61名。(2面へ)



最高裁不当判決

県民の意思を 尊重せよ

沖縄県名護市辺野古米軍基地建設をめぐる軟弱地盤が発見され、工事の設計変更が必要になり、国は沖縄県に対し設計変更を出した。この設計変更は認められないとの沖縄県の対応に、国土交通省が「是正指示」を出した。この是正指示は違法だとして取消しを求めた訴訟の判決があり、最高裁第一小法廷は4日、県側の上告を棄却した。この裁判では弁論も開かれず、県民の意思を無視し、最高裁はまたしても政府に付度した判決を出した。政府はきちんと県民の意見に耳を傾けるべきでしょう。

沖縄の旅

3回目の沖縄訪問をした。今回は息子の嫁さんが主に計画したもので小学6年生の孫中心の旅でした。夏休みに入っすぐの時期で台風やコロナ流行で心配しました。息子家族は宝塚市在住で伊丹空港から、私達夫婦は羽田から、息子の嫁さんの両親は石巻在住で仙台空港から、それぞれ那覇に集まりました。2日目にひめゆりの塔に行きましたが観光客はそれほど多くは有りませんでした。前にも行った事がある場所ですが改めて戦争の傷跡の展示物を見てウクライナのおかれている状況を想いロシア撤兵を早期に促したい思いを強くしました。映像を見ながら語り部が語る話を沈痛な表情で聞き入っ



ている孫を見て、この子らを同じ目に遭わせたくないと思っめて心に刻んだ。2日目の宿泊地に向かう途中、嘉手納基地の脇の道路を走り、延々と続く基地の大きさに改めて沖縄のおかれている状況を感じました。3日目、美ら海水族館に向かう途中辺野古への土砂運搬船が見え、近くに横断幕でここが土砂搬出現場と書かれていた。少し先に行くと道路の右側の山が台形に削られ平らになっているところが見えた。ここが土砂の切り出し場所だと推察された。ここを全部削ってもまだ土砂が足りず、南部のまだ遺骨が眠っている山の土砂を搬出する計画だとニュースで知っていたが、膨大な土砂の量であるなと感じた。民意をくみ取らない現政権は早く退陣させなくてはと強く感じた。沖縄の観光地はレンタカーがほとんどを占め、観光バスは見かけなかった。那覇の国際どおりから脇に入った商店街はシャッターが閉まっているところも多くコロナ禍の影響は大きい。

厚木町では火災が発生し消火に一日要した。しみみついた門柱が倒れ犠牲になった人もいたと母から聞いた事がある。相川地域に犠牲者がふえたのは、岡田、酒井、戸田、長沼など水由来の地名が示すとおり地盤が軟弱で全壊、倒壊が多かったからだといわれている。木造家屋が多い事は今もあまり変わらない。阪神淡路大震災、東日本大震災、その後も熊本や北海道、能登など大きな地震が発生している。東南海地震や首都圏直下型地震の発生確率も上がっている。自然災害の発生は防ぎようがないが、水や食料などの備えのほか、その時どのような行動を取るかで被害が大きく違う。いつ来るか分からないのでつい忘れがちになるが、繰り返し思い出す事が生死を分けるかも知れない。

(1面からつづく)